

【オリコンサルグローバルら スリランカに自己処理型バイオトイレ】

スリランカに自己 処理型バイオトイレ オリコンサルグローバルら



オリエンタルコンサルタンツグローバルと永和国土環境（広島県福山市、岡本良一代表取締役）、八杉商店（同、八杉陽一郎代表取締役）の3社は、スリランカの中北部州ポロンナルワ県で自己処理型水洗式污水处理システム「アクアメイク」の譲渡式を開いた。同国政府中央文化基金（CCF）のガミニ・ラナシンハ代表、ロシャン・ラナシンハ灌漑（かんがい）・スポーツ・青少年問題大臣らが出席した。

国際協力機構（JICA）の

「中小企業海外展開支援事業—普及・実証事業」の一環。3社は、CCFが管理する世界遺産ポロンナルワのガル・ヴィハーラ涅槃（ねはん）像がある地域での不十分な下水処理により発生する水質汚染の解決に寄与するため、永和国土環境が開発・提供するアクアメイク1基（普及のための展示室を含むトイレ施設）の導入を通じ、処理水質の改善効果、運営・維持管理体制の構築、政府関係機関・民間事業者などに対する普及活動を実施した。

アクアメイクは、カキ殻を利用した自己処理型環境保全性能を持つ。アクアメイクから排出される汚水をカキ殻などを利用して高度処理し、放流せずに処理水をトイレに循環再利用するため、水の補充が必要なく衛生的な水洗式トイレを提供できる。これにより公共水域の富栄養化を抑制し環境負荷を低減する。同県の処理水質の改善とCCFの污水处理システム運営維持管理能力の向上につながる事が期待される。